

野沢温泉村

住民初動マニュアル



野沢温泉村

< 目 次 >

1. 避難行動の基準	2
2. 地震に備えよう	2
3. 風水害に備えよう	2
4. 雪害に備えよう	2
5. 原子力災害に備えよう	2
6. 平常時の心得	2
7. わが家の防災マップ	2
8. 避難施設一覧	2



1. 避難行動の基準

自主避難
(避難準備情報)

※村長が発表

災害発生のおそれがあるとき

- ① 要配慮者の方（特に高齢者の方、障害のある方）や、急傾斜地のある地域など、特に避難が必要な方は、この時点で自主的に避難行動を始めてください。
- ② ラジオやテレビの情報に十分注意し、また村の有線放送や防災行政無線にも耳を傾け、いつでも避難ができるよう準備を整えてください。

避難勧告

※村長が発令

人的被害の発生する可能性が明らかに高まったとき

- ① 火の始末と戸締まりを完全にしてください。
- ② 非常持出品を持って避難してください。
- ③ 家族、近所の方と助け合いながら、速やかに避難所等の安全な場所に避難を開始してください。
- ④ 要配慮者の方などは避難を完了してください。

避難指示

※村長が発令

災害が発生する危険性が非常に高いと判断されたとき

- ① 直ちに避難を完了してください。
- ② まだ避難していないときは、直ちに避難行動に移るとともに、十分な時間がない場合は、生命を守る最低限の行動をとってください。

2. 地震に備えよう

◆いつでもどこにいても地震に警戒しよう◆

日本は、昔から地震による多くの被害を受けてきました。平成 23 年 3 月 11 日に日本観測史上最大の超巨大地震、東日本大震災が発生し、多くの尊い命が犠牲となりました。そしてその翌日、3 月 12 日 3 時 59 分、長野県と新潟県の県境を震源とした長野県北部地震が発生しました。野沢温泉村でも震度 5 弱を記録し、停電や一部建物への被害がでました。

地震はいつどこで発生しても不思議ではありません。多くの地震が予測されていますが、新潟県中越地震はその予測に含まれていない断層を震源とした地震でした。今後も想定外の地震が発生する可能性があります。また、地震によっては集落が孤立してしまうことも考えられます。地震への警戒を怠らず、あらかじめ対策を講じておきましょう。

■海溝（プレート境界）型の地震	■内陸活断層による地震
海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込み続けているために、ひずみが限界に達すると大陸プレートが跳ね上がって起こる現象です。	陸地の地下（ユーラシアプレートの内部）で活断層がずれて起こる地震。兵庫県南部地震が（阪神・淡路大震災）がその代表例です。
【特徴】 <ul style="list-style-type: none">◆ゆれている時間が長い（1分以上）。◆津波が襲ってくる可能性が高い。◆数十年から 100 年程度の間隔で発生する。	【特徴】 <ul style="list-style-type: none">◆ゆれている時間が短い（10 秒から数十秒）。◆震源が浅いため、断層の近くでは揺れが激しい。◆千年から一万年の間隔で発生する。

◆地震の発生◆

- 地震には、主としてプレート境界型地震と内陸地震がありますが、野沢温泉村の場合は、特に後者に警戒が必要です。内陸地震は、海と陸の双方のプレートの押合いで、陸プレートの歪みが限界に達したとき、岩石が破壊され地盤に食い違いが生じて発生します。
- 陸プレートで度々破壊が起こる地盤の境目が「活断層」ですが、野沢温泉村近辺では、信濃川断層帯、十日町断層帯といった活断層帯の存在が明らかになっています。

◆震度階級とその状況◆

震度 1	◆屋内にいる人の一部が僅かな揺れを感知	震度 5強	◆多くの人が行動に支障を感じる ◆棚内の食器類、本の多くが落下 ◆重い家具が倒れることがある
震度 2	◆屋内の多くの人が揺れを感知 ◆電灯等吊り下げ物が僅かに揺れる	震度 6弱	◆立っていることが困難になる ◆固定していない重い家具の多くが移動、転倒
震度 3	◆屋内のほとんどの人が揺れを感知 ◆棚内の食器類が音を立てることも	震度 6強	◆はわないと動くことができない ◆固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒
震度 4	◆かなりの恐怖感 ◆つり下げ物は大きく揺れる	震度 7	◆自分の意思で行動できない ◆ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある
震度 5弱	◆多くの人が身の安全を凶ろうとし、一部は行動に支障を感じる ◆棚内の食器類が落ちることがある		

緊急地震速報

気象庁では、強い揺れが到達される前に地震の発生をお知らせする、緊急地震速報の提供を始めています。最大震度5以上と推定した地震の際に、震度4以上の地域への強い揺れが来る数秒前～数十秒にお知らせするものです。テレビで「まもなく強い揺れが来ます」などといったテロップが流れるなどの予告が行われますので、身を守るための適切な行動が素早くできるように日頃から考えておきましょう。

◆地震が発生したら◆

地震発生

身を守る

あわてず落ち着いて

まず、自分の身体を守る。

揺れがおさまるまで、丈夫な机等の下に身をふせ、互いに声をかけ合い、家族の安否確認をしましょう。

火に近づかない

簡易ガス・LP ガスは震度5相当以上で、ガスメーターが自動的にガスを遮断します。無理に火を消そうとせず、揺れがおさまるまで近づかないようにしましょう。

1~2分

出口の確保

ドアがゆがむと避難ができなくなることがあります。ドアを開けて出口を確保しましょう。

火元を確認

コンロの火を消し、ガスの元栓をしめ、ストーブやアイロンなどのスイッチも切りましょう。出火後1~2分以内ならば消火も容易です。

3~10分

避難

停電からの復旧通電が火災の原因になるため、電気のブレーカーを落とす。3日分の自給を目途に、非常持出品を持つ。荷物は最小限に。余震・土砂崩れに注意し、避難所への避難。安全な避難経路を選択、隣近所声をかけ合い、なるべく1人で行動しない。

10分~数時間

安否確認

独居のお年寄りの避難誘導、集落ごとに安否を確認する。ラジオ・有線放送等で正確な情報を確認しましょう。二次災害を招かぬ範囲で消火・救出活動を行いましょう。

2~3日

復旧に向けて

外部応援が来るまで食品等は備蓄で補います。村・県などからの災害に注意し、正しい情報を手に入れましょう。引き続き余震に注意し、長期の避難生活が見込まれる場合は指定避難所へ移動することもあります。

3. 風水害に備えよう

野沢温泉村は複雑な地形と急峻な傾斜地で、地盤がゆるいところもあります。そのため、流出土砂で河床が上昇し、洪水が発生する危険性があります。

◆野沢温泉村における気象特別警報・警報・注意報の種類及び発表基準◆

テレビ・ラジオ等を通して、気象台から発表される情報に注意しましょう。
注意報・警報の基準は以下の通りです。

大雨注意報	1時間雨量が 25mm	大雨警報	1時間雨量が 40mm
洪水注意報	1時間雨量が 25mm	洪水警報	1時間雨量が 40mm
強風注意報	平均風速が 13m/s 以上	暴風警報	平均風速が 17m/s 以上
大雪注意報	24時間降雪の深さ 40cm	大雪警報	24時間降雪の深さ 70cm

また、平成 25 年に定められた特別警報の基準は以下の通りです。

特別警報	気象	大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合
		暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合
		暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
		大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合
	地震	地震動	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合
		火山現象	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合
		地面現象	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合
		津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合
		高潮	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高潮になると予想される場合
		波浪	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高波になると予想される場合

◆風の強さ◆

風の強さで危険度を知りましょう。

	10以上15未満	15以上20未満	20以上25未満	25以上30未満	30以上
予報用語	やや強い風	強い風	非常に強い風		猛烈な風
人への影響	傘がさせない	転倒する人も でる	しっかり身体 を確保しないと 転倒する	立ってられない。屋外での行動 は危険	
危険度小 危険度大					

◆雨の強さと降り方の目安◆

降っている雨を観察することで、だいたいの雨量を知ることができます。

危険な状態になる前に、自分で判断して避難できるように雨の降り方と雨量の関係を覚えておきましょう。

1時間雨量	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人への影響	地面からの跳ね 返りで足元がぬ れる	傘をさしてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	

(気象庁「雨の強さと降り方」より)

◆風水害から身を守るために◆

気象情報に注意する

テレビやラジオ、電話（177）、インターネットなどを利用して、気象庁から発表される警報・注意報や、役場・消防署からの情報に注意しましょう。

むやみに外出しない

台風が接近しているときや豪雨のときは、外出しないようにしましょう。止むを得ず外出する際は、天気予報を確認し、少しでも危険を感じる場所には近づかないようにしましょう。特に堤防・河川への見物は事故のもとです。

風が強いとき	
路上にいるとき	屋内にいるとき
強風で看板等が飛んだり、街路樹などが倒れたりします。無理して歩かず近くの頑丈な建物に避難しましょう。	風圧や飛来物で窓ガラスが割れ、破片が吹き込む危険があります。風が強いときは窓に近づかないようにしましょう。

大雨のとき		
河原にいるとき	車を運転しているとき	路上にいるとき
上流の豪雨による急な増水の危険があります。川などに近づかないようにしましょう。警報が聞こえたら速やかに避難しましょう。	視界が悪く、ハンドル操作やブレーキがきかなくなることもあります。すでに浸水している道路に差しかけたら、水の流れを横切る方向へ移動し、高台へ避難しましょう。	浸水してきたら、しっかりした建物の3階以上へ避難しましょう。その際はなるべく階段を使って上の階へ行きましょう。また、水路・側溝は水量が増して危険ですので、近づかないようにしましょう。

◆風水害時に避難するとき◆

事前準備

日頃からの備えとして、各種防災情報の入手方法、避難所、避難経路、持出品などについて、家族全員で話し合しましょう。

災害時

大雨による災害のおそれがある場合に「**大雨注意報**」を、また、大雨によって重大な災害発生のおそれがある場合に「**大雨警報**」が発表されます。さらに、数十年に一度の降雨量となる大雨になると予想される場合に対しては「**大雨特別警報**」が発表されます。

避難準備情報

人的被害発生のおそれが高く、避難勧告や避難指示発令の可能性があるときに、避難に向けた準備を呼びかけるものとして「**避難準備情報**」を村長が発表します。

避難準備情報が発令された場合や、危険が予想される場合、避難に際して時間がかかるような要配慮者（高齢者、身体障害者等）は、避難を開始してください。（避難支援者は支援行動を開始）

要配慮者以外の方は、家族等との連絡、非常持出品の用意等の避難の準備を開始してください。

避難勧告

人的被害の発生する可能性が明らかに高まった場合、「**避難勧告**」を村長が発令します。

「避難勧告」は、生命・身体の保護を目的として、安全な場所への立退きを求め、早めの避難を促すために出されます。居住者等を拘束するものではありませんが、発令する村長は、その「勧告」を尊重することを期待して避難を勧め促します。

自らや家族等の身の安全確保を第一に考え、避難勧告が出されたら避難を始めることが重要です。

避難指示

「避難勧告」の状況よりも、さらに水害等の災害の危険が切迫している場合に「**避難指示**」を村長が発令します。避難勧告に従ってすでに避難した人は、迅速かつ確実に避難を完了する必要がありますし、まだ避難していない人はすぐに避難しなければいけません。もし、避難する（時間的）余裕がない人は、生命を守るための最低限の行動をしなければならない段階です。

災害の前兆現象の発生や、その時の切迫した状況から、人的被害の発生する可能性が非常に高いと判断された段階に発令されるものとされています。

◆避難時における注意点◆

集中豪雨等により、浸水が急に起こることもあります。水深 20cm 程度でも水の流れによっては、歩行が困難となるため、早めに対応しましょう。

高齢者や子どもは危険なため、高所で救助を待ちましょう

正確な情報収集と自主的避難を

- ◆ラジオ・テレビで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。
- ◆雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

避難の呼びかけに注意を

- ◆危険が迫ったときには、役場や消防団から呼びかけをすることがあります。
- ◆呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。

動きやすい服装、2人以上で避難

- ◆避難するときは、動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけましょう。

高齢者などの避難に協力を

- ◆高齢者や子ども、傷病者など要配慮者は早めの避難が必要です。
- ◆周囲の方々は避難に協力しましょう。

自動車での避難を控えて

- ◆自動車での避難は緊急車両の通行の妨げになりますので、特別の場合を除きやめましょう。
- ◆また、堤防や道路に自動車を放置すると、水防活動の妨げになりますのでやめましょう

もしも、逃げ遅れたら

- ◆近くの丈夫な建物の三階以上に避難して救助を待ちましょう。
- ◆住宅の二階部分でも場合によっては危険な場合があります。

◆風水害に対する日頃の備え◆

定期的に家の中や周囲をチェックしておきましょう。

強風が強まってから屋根などの補強をするのは非常に危険です。絶対にやめましょう。

◆災害時の連絡手段◆

大規模な災害時には、一般電話や携帯電話の通話が制限されます。

NTTの災害伝言ダイヤルや携帯電話の災害伝言板を活用して、家族や友人に連絡しましょう。伝言を登録・再生できます。

災害伝言ダイヤル 171

NTT東日本（一般電話：音声）「171」をダイヤルし、ガイダンスにしたがって伝言を登録・再生できます。

災害伝言板

安否情報を登録すると、家族や友人が携帯電話やパソコンから確認できます。詳しくは、各社のホームページなどをご覧ください。

◆携帯電話 災害伝言板

〈ドコモ〉

<http://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/>

〈au〉

<http://dengon.ezweb.ne.jp>

〈ソフトバンクモバイル〉

<http://dengon.softbank.ne.jp>

〈ウィルコム〉

<http://dengon.willcom-inc.com>

◆パソコン（テキスト、音声、画像）

〈NTT 東日本〉

【災害用ブロードバンド伝言掲示板（web171）】

<http://www.ntt-east.co.jp/saigai/web171/>

緊急・災害メール

長野県では、(株)NTT ドコモ、KDDI(株)、ソフトバンクモバイル(株)の緊急速報メールサービスを利用して、災害発生時における避難勧告や指示などの緊急情報を長野県内の携帯電話等に一齐配信します。

- 申し込みは不要で、受信は無料です。
- 受信すると専用着信音流れ、ポップアップ表示されます。
- 一時的にエリア内にいる来県者も情報が受信できます。

緊急・災害情報メール受信可能機種については各社ホームページをご覧ください。

〈NTTドコモ〉

トップ > サービス・機能 > 緊急速報「エリアメール」

<http://www.nttdocomo.co.jp/service/safety/areamail/index.html>

〈au〉

トップ > スマートフォン・携帯電話 > 災害時・緊急時対策 > 緊急速報メール

<http://www.au.kddi.com/mobile/anti-disaster/kinkyu-sokuho/>

〈ソフトバンク〉

トップ > モバイル > サービス・アプリ > 緊急速報メール

http://www.softbank.jp/mobile/service/urgent_news/

4. 雪害に備えよう

野沢温泉村は、冬季に多量の降雪がある豪雪地帯です。
日ごろから雪害についての知識を深め、その対策を考えておく必要があります。

◆大雪が予想されるときは◆

- 気象情報に注意して、大雪・暴風雪が予想されるときは**外出をひかえましょう。**
- **停電することもある**ので、懐中電灯、携帯ラジオの準備をしましょう。
- 外出できない事態に備え、食料や飲料水を確保しておきましょう。
- FF式暖房器は、給排気口が雪で埋まると、不完全燃焼を起こし危険な場合があるので、除雪状況に注意しましょう。

◆やむをえず車で外出するときは◆

- **外出する前に、再度**、気象情報を確認しておきましょう。
- ガス欠は生命の危機につながるため、**燃料は満タンに、給油も早め**に行いましょう。
- 積雪道路や凍結道路は、必ず、スノータイヤやスタッドレスタイヤ、またはタイヤチェーンをとりつけて走りましょう。
- スリップしても事故のないよう、車間距離を十分にとりましょう。
- 地吹雪によるホワイトアウトに遭遇した場合は、あせらずハザードランプをつけ、スピードを落とし、吹きだまりなどに注意しながら安全な場所に停車しましょう。
あわてずに地吹雪がおさまるのを待ちましょう。



◆吹雪で車が動けなくなったときは◆

- 車が立ち往生したときは、道路緊急ダイヤル（#9910）やJAFなどのロードサービス、消防（119番）や警察（110番）に連絡し、近くに人家がある場合は、必ず救助を依頼しましょう。
- 車内にとどまる場合は、**車のマフラーが雪に埋もれて排気ガスが車内に逆流する場合があります**ので、マフラーを定期的に除雪し、窓を少し開けて換気するなどして救助に備えてください。

◆雪おろしの際の注意◆

豪雪の際は、家屋を守るために雪おろしをすることも少なくありませんが、近年、雪処理中の事故の増加が社会問題になっており、安全な雪おろしを心がけていくことが必要です。

除雪中の事故防止10ヶ条

- 作業は家族、となり近所にも声をかけ、必ず2人以上で!
- 建物のまわりに雪を残して雪下ろし!
- 晴れの日ほど要注意、屋根の雪がゆるんでる!
- はしごの固定を忘れずに!
- 除雪機の雪づまりの取りのぞきは、エンジンを切ってから!
- 低い屋根でも油断は禁物!
- 作業開始直後と疲れたころは特に慎重に!
- 面倒でも命綱とヘルメットを!
- 命綱・除雪機など、用具はこまめに手入れ・点検を!
- 作業のときには携帯電話を持っていく!

空き家での除雪が行われず、危険な状態になっている場合には、法律*に基づき村長の判断で雪おろしを行うことが可能です。お困りの際は、村(85-3111)に問い合わせてください。

(*災害対策基本法第64条第1項)

◆雪崩への注意◆

一般的に、角度が30度以上で高低差10m以上ある斜面が、雪崩の危険があるといわれています。豪雪の際には、このような場所には近寄らないようにしましょう。

また、山の尾根から雪がはり出した雪庇(せっぴ)や斜面の亀裂など、雪崩の兆候を発見したら、速やかに村(85-3111)へ連絡しましょう。

5. 原子力災害に備えよう

野沢温泉村は、原子力災害からは縁遠いと思われるかもしれませんが、柏崎刈羽原子力発電所（新潟県）からの直線距離はけっして遠くはありません。

柏崎刈羽原子力発電所から野沢温泉村役場までの距離は約 58Km、村の北端までの距離は約 45Kmであり、東日本大震災の際に福島で起きた原発事故の例を考えると、必ずしも安心できる圏内にあるとは言えません。

原発事故が起こったときのことを、あらかじめ考えておく必要があります。

◆原子力事故の区分◆

原子力発電所で発生する異常は、その重大さによって「特定事象」「原子力緊急事態」に分けられます。

通報事象と基準	特定事象	原子力緊急事態
臨界事象	臨界事故発生 あるいは その可能性が高い	臨界状態
施設内での事象	①通常の制御棒挿入による原子炉の停止ができない ②原子炉冷却材の漏洩による非常用炉心冷却装置の作動 ③全ての給水機能の喪失時に非常用炉心冷却装置が作動しない ④原子炉から熱を除去する機能の喪失時に残留熱を除去する機能が喪失 ⑤全ての交流電源からの電気供給が停止し、その状態が5分以上継続 ⑥直流電源が一となる状態が5分以上継続 ⑦原子炉停止時に原子炉水位が非常用炉心冷却装置が作動する水位まで低下 ⑧燃料プールの水位が燃料が露出する水位まで低下 ⑨中央制御室が使用できなくなることによる原子炉停止機能又は残留熱除去機能が喪失	①原子炉の全ての停止機能が喪失 ②原子炉冷却材が漏洩した場合に非常用炉心冷却装置による原子炉への注水ができない ③原子炉格納容器内の圧力が当該格納容器設計上の最高使用圧力に到達 ④残留熱を除去する機能が喪失した時に原子炉格納容器の圧力抑制機能が喪失 ⑤全ての交流電源からの電気供給が停止し、原子炉を冷却する全ての機能が喪失 ⑥全ての直流電源が停止した状態が5分以上継続 ⑦原子炉容器内の炉心の溶解 ⑧原子炉容器内の水位が燃料が露出する水位まで低下 ⑨中央制御室及び中央制御室外において、原子炉停止機能又は残留熱除去機能が喪失

※臨界：原子炉の制御ができず、核分裂状態が継続して大量の放射線や熱が発生すること。

◆災害時の対応◆

原子力災害が起こったときは、放射線や放射線物質の拡散の度合いにより、屋内退避や村外への避難指示が出ることがあります。もしも、SPEEDI（緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム）などにより、村全域への被害が予測された際には、全村をあげての避難指示がある場合も考えられます。

屋内退避及び避難等に関する指標（mSv:ミリシーベルト）

予 測 線 量		防 護 対 策 の 内 容
外部被ばくによる実効線量	内部被ばくによる等価線量 ・放射性ヨウ素による小児甲状腺の等価線量 ・ウラン又はプルトニウムによる骨表面又は肺の等価線量	
10～50mSv	100～500mSv	自宅などの屋内へ退避し、窓を閉め気密に配慮する。 ただし、施設から直接放出される中性子線やガンマ線に対しては、指示があれば、コンクリートの建物に退避する。
50mSv以上	500mSv以上	住民は、指示に従いコンクリート建家の屋内に退避する。

※村より、村外への避難指示が出た場合はそれに従いましょう。

◆人体への被害◆

放射線には、以下のような人体への影響があります。

原子力災害において、予防・防護措置として安定ヨウ素剤の配布があった場合には、速やかに服用しましょう。

身体への影響	急性の疾患	<ul style="list-style-type: none"> ・悪心、嘔吐 ・下痢、下血 ・リンパ球数の一時的減少 ・骨髄障害からの造血、免疫機能低下 ・神経障害 ・一時的不妊 <p style="text-align: right;">など</p>
	潜伏期間のある疾患	<ul style="list-style-type: none"> ・癌 ・白血病 ・白内障
遺伝への影響		<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝病

6. 平常時の心得

災害のおそれがある場合、村の有線放送や防災行政無線などで避難の呼びかけをしますの
で、避難誘導に従って速やかに避難してください。

その時の判断により自主避難も考慮してください。

◆① 家族一人ひとりの役割を決めましょう◆

例 お母さん

- 火を消す・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- ガスの元栓を閉める・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 子どもやお年寄りの安全を確認する・・・・・・・・
- 危険物を安全なところへ移す・・・・・・・・
- 消火器、バケツなどを準備する・・・・・・・・
- 電気器具のコンセントを抜く、ブレーカーを切る
- 家電製品の転倒や落下、水がかかっていないかのチェック
- 電源コードや電源プラグの損傷のチェック
- 出入口を確保する・・・・・・・・・・・・・・・・
- ラジオ、テレビ、村の情報を確認する
- 非常持出品を確認する
- その他（ ）

◆② 非常持出品の事前準備を◆

リュックサックなど両手が自由に動かせるものに準備し、いつでもすぐに持ち出せる場所
に置いておきましょう。少なくとも年に一度は点検しましょう。

非常持出品(チェックしましょう)

- 貴重品 (現金、預金通帳、印鑑、免許証、健康保険証等)
- 食料等 (飲料水、乾パン、缶詰等最低1日分、できれば3日分を用意)
- 懐中電灯等 (電池、ライター、ろうそく等)
- 携帯ラジオ
- 救急医療品 (病人の常備薬、傷薬、マスク、ばんそうこう等)
- 衣類 (帽子、雨具、上下着、軍手)
- その他 (タオル、トイレトーパー、筆記用具、缶切り、ナイフ、使い捨てカイロ等)

◆③ 避難所や避難経路を確認しておく◆

有線放送や防災無線をよく聞いて行動しましょう。

避難所マップには、災害時に避難する場所が示されています。自分の地区の避難する場所はどこなのか、そこへ安全に行くためにはどう行けばいいのか確認しておきましょう。

また、職場や学校にいたときの避難場所や連絡方法、親戚等への緊急連絡先も決めておきましょう。

家族の安否確認には、災害用伝言ダイヤルを使う方法のほか、電話のつながりやすい遠方の親戚等を中継点として決めておく方法があります。

7. わが家の防災マップ

自分の家の周辺の危険な道路や老朽化した看板など、村を歩いて確認したことを地図に書いておきましょう。

記載しておきたいこと

- 家族の集合場所
- 避難場所
- 避難経路
- 地震や台風、大雪のとき危険になりそうな場所

8. 避難施設一覧

■ 指定緊急避難場所（一次避難施設：災害時に、まず避難する場所）

名 称	所 在 地	電話番号
前坂集会所	大字豊郷 4717-1	—
中尾集会所	大字豊郷 6573-2	—
村営南原運動場（南原総合グラウンド）	大字豊郷字南原	—
村営中尾駐車場	大字豊郷 5050-2	85-4722
新田集会所	大字豊郷 6762-1	—
秋葉集会所	大字豊郷 7748-1	—
松葉大湯集会所	大字豊郷 9332	—
麻釜集会所	大字豊郷 8750-7	—
寺湯農業生活改善センター	大字豊郷 8935-1	—
横落集会所	大字豊郷 8935-1	—
村民憩の広場	大字豊郷 9198-□	—
野沢温泉小学校校庭	大字豊郷 4313	85-2124
重地原集会所	大字豊郷 3143-6	—
坪山集会所	大字坪山 306	—
平林集会所（平林区民センター）	大字平林 797	—
平林区民広場	大字平林 232-2	—
矢垂集会所	大字虫生 41-1	—
虫生集会所	大字虫生 1091	85-4324
物産センター（道の駅野沢温泉）	大字虫生 2383-1	85-4441
七ヶ巻集会所	大字七ヶ巻 389-1	—
東大滝集会所	大字東大滝 297	—
明石集会所	大字東大滝 834	—
明石地区駐車場	大字東大滝	—

指定避難所（二次避難施設：避難後に落ち着いて避難生活をする場所）

名 称	所 在 地	電話番号
野沢温泉村役場庁舎	大字豊郷 9817	85-3111
野沢温泉村保健センター	大字豊郷 9817	85-3201
野沢温泉体育館	大字豊郷 9167	85-2618
野沢温泉村公民館	大字豊郷 9167	85-2618
野沢温泉小学校体育館	大字豊郷 4313	85-2142
野沢温泉中学校体育館	大字豊郷 10144	85-2141
のざわこども園	大字豊郷 9846-5	85-2505
老人福祉センター	大字豊郷 9100-2	85-4348
市川交流センター・体育館	大字虫生 336-2	85-2760
物産センター（道の駅野沢温泉）	大字虫生 2383-1	85-4441

要配慮者施設

名 称	所 在 地	電話番号
特別養護老人ホーム菜の花苑	大字豊郷 9863-1	85-4710
宅幼老所おら家	大字豊郷 8888	85-2277
のざわこども園	大字豊郷 4399	85-2505
老人福祉住宅つつじ苑	大字豊郷 9110-2	85-3112
老人福祉センター	大字豊郷 9100-2	85-4348

医療機関

名 称	所 在 地	電話番号
市川診療所 【内科・外科】	大字虫生 1091	85-4324
野沢医院 【整形外科・内科・小児科】	大字豊郷 9323	85-2010
富井歯科医院【歯科・小児歯科】	大字豊郷 4374-1	85-2347
安部医院 【内科・外科・胃腸科】	大字豊郷 9780-4	-

緊急連絡カード

住所	電話 ()		避難場所	一次避難施設	
				二次避難施設	
氏名	(男・女)		家族が 離れ離れに なったとき	集合場所	
生年月日	年 月 日	血液型：		連絡先	
保護者	氏名		既往症	TEL	
	連絡先				
勤務先 (学校名)	TEL		医療機関等 連絡先		
			健康保険証番号		

支援プラン

名前	住所			
	電話		FAX	
支援の必要な理由 (要介護度、障害者手帳の等級および具体的な症状)				
災害時の避難方法				
支援者	名前	住所	電話	FAX
	名前	住所	電話	FAX
かかりつけ医療機関				
かかりつけ以外であなたの病状などに対応できる医療機関				
同居家族	名前：	続柄：	名前：	続柄：
	名前：	続柄：	名前：	続柄：
緊急時の 連絡先	名前：	続柄	住所	電話
	名前：	続柄	住所	電話

野沢温泉村住民初動マニュアル

平成 26 年 4 月

※令和 6 年 4 月一部改訂